

日本産業衛生学会 関東地方会 理事候補

氏名：掛本 知里（産業保健看護上級専門家）

所属：東京有明医療大学看護学部看護学科  
学科長・地域看護学教授

学会活動： 産業看護部会副会長  
（教育・研究・国際担当）  
産業保健看護専門家制度委員会委員長

略歴： 1986年 聖路加看護大学卒業  
1993年 聖路加看護大学看護学前期課程修了  
2005年 聖路加看護大学看護学研究科後期博士課程修了  
1986年～1991年 NTT東京中央健康管理センタ勤務  
1993年～1998年 岡山県立大学保健医療学部看護学科助手  
1998年～2010年 東京女子医科大学看護学部講師、准教授  
2010年～ 東京有明医療大学看護学部看護学科准教授、教授  
2015年～ 東京有明医療大学看護学部看護学科学科長

所信：

#### ■ 学術団体としての社会的役割の推進

産業保健に関わる学術団体として、「勤労者の職業起因性疾患の予防及び健康維持増進を図る」ための産業保健活動のエビデンスとなるものを明らかにし、産業保健活動の発展に寄与することが求められます。今後とも、大学での教育・研究経験を活かし、学術団体としての社会的役割を果たしていくため、情報の発信やエビデンスの蓄積等を図ってための活動に貢献いたします。

#### ■ 多職種連携の推進

複雑化する社会において、さらなる多職種間の協働・連携が求められます。産業保健に関わる多様な職種が、協働して活動することが、結果的にそれぞれの専門能力を強化することにもつながります。多職種間の発展的な連携力をさらに高めるための活動に貢献いたします。

#### ■ 産業保健看護専門家制度の強化及び発展

2015年に産業保健看護専門家制度が成立し、その運用が開始されてからすでに3年が経過しました。現在、1,000名以上の看護職がこの制度に登録してくださっています。今後とも安定的な制度の運用を図り、産業保健看護職の質が担保していけるよう、制度の強化及び発展を図っていきたく思っております。なかでも、産業保健看護専門家が、①所属の垣根を超え、相互に支援し、発展していくためのコミュニティ形成する、②学術団体の一員として、その社会的役割を果たしていくため、研究活動を支援し、産業保健看護活動に関わるエビデンスを蓄積する、③社会貢献活動を推進し、産業保健看護専門家の社会的認知を高める、ことを推進していきます。加えて、他の専門職との連携を強化し、産業保健領域の更なる発展に寄与する制度といたします。

